国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和２年１月24日
中部地方整備局

中部地方整備局管内における
“重点「道の駅」”及び“重点「道の駅」候補”を選定しました

１．概要

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手法であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を実施しています。

令和元年度は、地域創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を募集しました。

今般、企画提案内容を確認し、有識者等のご意見を踏まえ、中部地方整備局管内では重点「道の駅」及び重点「道の駅」候補として、以下のとおり選定しました。

２．選定結果

＜国土交通大臣選定＞

〇重点「道の駅」　　１駅：渥美半島菜の花浪漫街道（あつみはんとうなのはなろまんかいどう）「道の駅」ネットワーク

（愛知県田原（たはら）市）

＜中部地方整備局長選定＞

〇重点「道の駅」候補　１駅：日義木曽駒高原（ひよしきそこまこうげん）（長野県木曽（きそ）郡木曽町（きそまち））

３．配布先

中部地方整備局記者クラブ、田原市政記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ

４．問い合わせ先

中部地方整備局　道路部　計画調整課
課長　油井（ゆい）　康夫（やすお）
課長補佐　小川（おがわ）　喜睦（よしちか）
TEL　052-953-8171　FAX　052-953-9180

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル　#9910　（通話料無料・２４時間受付）

令和元年度中部地方整備局管内の
重点「道の駅」及び重点「道の駅」候補

重点「道の駅」（国土交通大臣選定）

○愛知県田原市（たはら）　渥美半島菜の花浪漫街道（あつみはんとうなはなろまんかいどう）「道の駅」ネットワーク

道の駅「田原（たはら）めっくんはうす」

道の駅「あかばねロコステーション」

道の駅「伊良湖（いらご）クリスタルポルト」

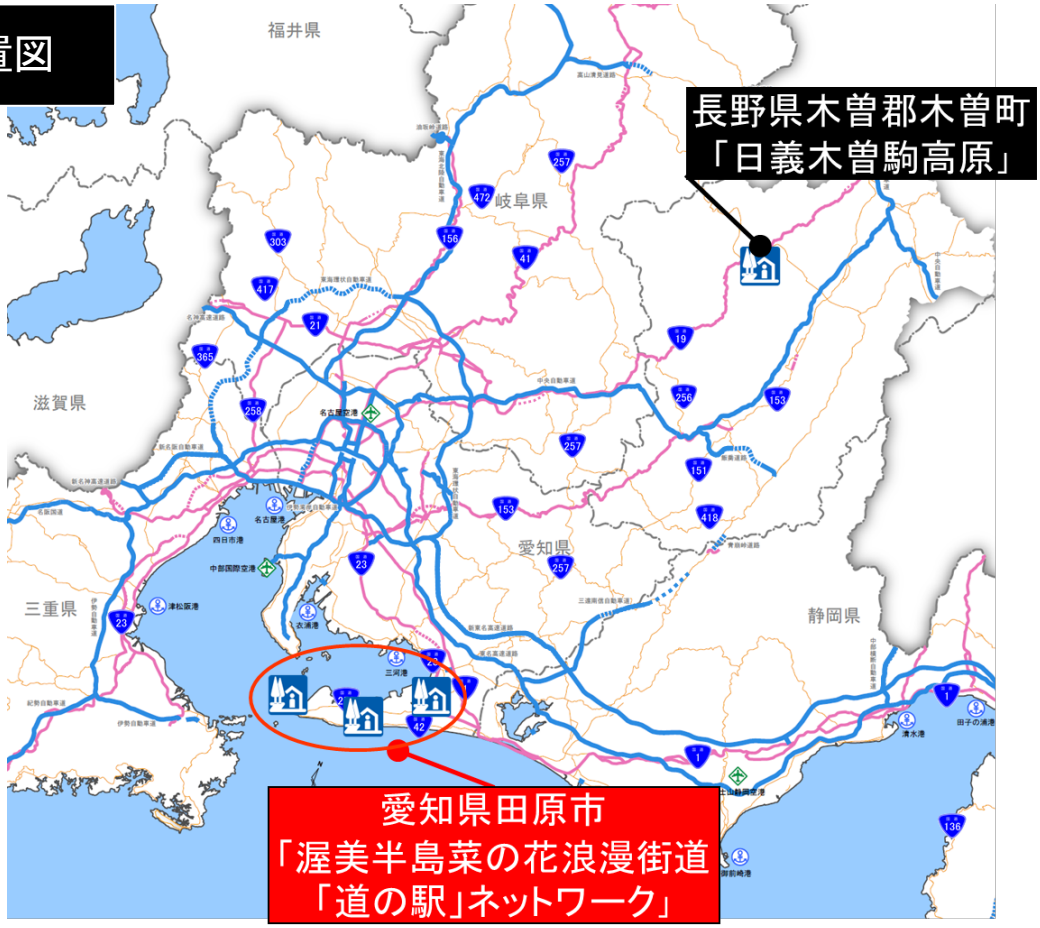
今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

重点「道の駅」候補（中部地方整備局長選定）

○長野県木曽郡木曽町（きそきそまち）　道の駅「日義木曽駒高原（ひよしきそこまこうげん）」

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

位置図



渥美半島菜の花浪漫街道「道の駅」ネットワーク（愛知県田原市） 企画概要

R1重点

○日本風景街道「渥美半島菜の花浪漫街道」にある3つの「道の駅」が連携し、サイクリストの受入拠点、次世代観光の情報発信拠点としての整備を実施

○これにより日本風景街道第3次アクションプラン「自転車道の活用と整備」等を推進しナショナルサイクルルートの指定に向けた太平洋岸自転車道サイクリストの受入れや、インバウンド観光を促進

●日本風景街道「渥美半島菜の花浪漫街道」との連携

日本風景街道の取組（第3次アクションプラン）と連携し、「自転車道の活用と整備」、「道の駅を核とした情報の発信」等の推進をはかる。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
①田原めっくんはうす【重点候補】	愛知県	田原市	国道259号	既設	平成4年度	単独型
②あかばねロコステーション	愛知県	田原市	国道42号	既設	平成20年度	単独型
③伊良湖クリスタルポルト	愛知県	田原市	国道42号	既設	平成6年度	単独型

ナショナルサイクリストの受入れ環境整備

サイクルラック、多言語ﾙｰﾄﾏｯﾌﾟ、レンタサイクル、荷物ロッカー・着替えルーム、サイクルステーション,Wifi　など必要な施設の環境整備

体験型観光の情報発信・インバウンド観光促進

・次世代観光となる体験型観光を道の駅で情報発信（体験受付窓口を設置）

・3つの道の駅すべてJNTO登録しインバウンド対応促進

情報通信機器を活用し3駅が連携した外国人案内対応を実施

提案

体験型観光コースを道の駅で提案（受付窓口を設置、多言語にも対応予定）

1日楽しめる体験型観光コースの例

＜提案の先駆性・ポイント＞

■日本風景街道との連携：風景街道アクションプラン「自転車道の活用と整備」、「道の駅を核とした情報の発信」を推進

■自転車活用推進：ナショナルサイクリスト受入れ拠点整備

■次世代観光情報発信拠点：体験型観光博覧会「たはら巡り～な」を展開する拠点として道の駅で情報発信（ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ対応含）

＜実施内容＞

○3つの道の駅でナショナルサイクリスト受入環境（レンタサイクル、手荷物ロッカー、着替えスペース等）を整備

○道の駅及び体験型観光の情報発信（体験受付窓口設置、SNS、インバウンド対応等）による周遊観光の促進

○インバウンド対応JNTO観光案内所の3つの道の駅での連携登録

○日本風景街道大学田原キャンパスを開催し道の駅との連携を促進

日義木曽駒高原（長野県木曽郡木曽町） 企画概要

R1重点候補

○木曽駒ケ岳が眺望できる施設整備を図り、観光客や地域住民に憩いの場を提供
○道の駅を地域の高齢者も気楽に立ち寄り滞在できる施設として地域再生計画に位置づけ
○風景街道「こころのふるさと“木曽路”中山道」やDMOと連携し、地域の観光拠点として活用

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
日義木曽駒高原	長野県	木曽町	国道19号	既設	平成5年度	一体型

位置図

中山道一里塚の碑

中山道旧旅籠

義仲館

旗挙八幡宮

商工観光

①食事処を増築し木曽駒ケ岳が眺望できる憩いの場を提供

道の駅からの木曽駒ケ岳の眺望

②風景街道およびDMOと連携し、情報発信（ホームページ、SNS、地元情報誌等）を推進し地域の魅力をPR
　多言語パンフやJNTO登録によりインバウンド対応の促進

木曽八景の徳音寺

外国人ツアーの様子

農林業振興

農産物直売所を改装し地域住民のスーパーマーケットとして機能を充実

改装イメージ

高齢者福祉

高齢者が買い物、飲食、ふれあいサロン、趣味教室など1日過ごすことのできる施設として、地域再生計画に位置づけ、地域の人々が滞在できる空間として活用

高齢者ふれあいサロンイメージ

高齢者趣味教室イメージ

＜提案の先駆性・ポイント＞

■木曽駒ケ岳を眺望しながら食事などを楽しむ空間づくり
■地域住民のスーパーマーケットとして農林産物販売を充実
■高齢化社会の日常生活における拠り所として利便性を向上
■風景街道、DMOと連携し、中山道歩きの観光客を誘導

＜実施内容＞

○食事処を増築し木曽駒ケ岳が眺望できる憩いの場を提供
○農産物直売所を改装し地域スーパーの機能を充実
○小さな拠点形成として地方創生地域再生計画に位置づけ
○観光案内窓口の設置、SNS、インバウンド対応（多言語パンフレット、JNTO登録）など情報発信を促進